

## 令和5年度 第1回

### 鈴鹿川外・雲出川外・櫛田川外・宮川外大規模氾濫減災協議会

### 鈴鹿川外・雲出川外・櫛田川外・宮川外流域治水協議会

#### (合同協議会)

1 日時：令和5年6月2日(金) 10:00～12:00

2 形式：対面・オンライン開催

3 出席者：別紙—1 参照

#### 4. 議 事

##### 【大規模氾濫減災協議会】

- (1) 規約改正(案)について
- (2) 各機関の令和4年度の取組み及び今後の予定について
- (3) 水防関係に係る話題提供・情報共有

##### 【流域治水協議会】

- (1) 規約改正(案)について
- (2) 各機関の令和4年度の流域治水に係る取組みについて
- (3) 意見交換

#### 5. 議事概要

- ・大規模氾濫減災協議会にて、令和4年度の取組みについて紹介を行い、流域タイムラインの運用、水害リスク情報の充実(水害リスクマップ(浸水頻度図)の整備)、洪水に関する危険度情報の一体的発信、ワンコイン浸水センサ～官民連携による流域の浸水状況把握～、市町村災害対応統合システム「IDR4M」について説明。
- ・流域治水協議会にて、各委員から令和4年度の流域治水に係る取組みについて紹介。

## [出席者の主な発言]

### ◎大規模氾濫減災協議会

#### ■鈴鹿市

- ・令和4年度は、持続的な水災害教育の実施と伝承として、市内の小学校や放課後等デイサービスにて防災クイズを取り入れた防災講話、地域の企業団体等にて防災訓練を実施した。
- ・実効性のある避難確保計画の作成推進と避難訓練の実施につきましては、令和4年度末時点では作成の対象となるすべての施設で避難確保計画が作成されている。
- ・要配慮者利用施設においては、市内で参加を希望する施設を対象に、市が災害の流れに応じた情報提供を行うといった支援を行い、その情報に沿った一斉避難訓練を施設が実施した。  
(三重河川国道事務所)
- ・防災教育に非常に力が入ってきている中、具体的な取組をして頂いている。
- ・避難確保計画の作成率100%達成されたことから、この結果を踏まえて避難訓練にも取り組んで頂いている。高齢者施設では、逃げ遅れによって亡くられる方が後を絶たないため、こういった取組が非常に重要になるのではないかと思う。

#### ■大台町

- ・被害の軽減、早期復旧・復興のための対策として、令和4年4月から防災・行政情報発信アプリ「おおいナビ」を運用開始し、防災行政無線で放送した情報を個人のスマートフォンへ配信している。防災情報だけでなく、ごみ収集や町営バス時刻表などの暮らしに役立つ機能も備えている。一人でも多くの町民の皆様に応用いただき、会議の場や健康相談の場、各種イベントで普及啓発に力を入れている。
- ・防災意識の向上と災害への備えに重点を置いており、町民の皆さんがより安心して生活できるように努めていきたい。  
(三重河川国道事務所)
- ・防災行政無線は、災害時には聞き逃しや、聞き取れないということが懸念されているが、情報の再確認ツールや災害情報単独のアプリのダウンロード数が少ない、と感じている。その中で、災害情報だけでなく、ごみの情報や、市民の生活にも関連した情報も得ることが出来るアプリの開発は非常に先進的な取組をされていると思う。今後、ダウンロードが期待される。
- ・災害時に緊急車両や復旧関係の車両が通れず、それにより復旧が遅れてしまうということを防止するために、事前伐採は非常に大事な取組だと思っている。

#### ■伊勢市

- ・危機管理型水位計の活用方法の検討を目的とした、「汁谷川みんな地域観測プロジェクト」に取り組んだ。
- ・「汁谷川みんな地域観測プロジェクト」は、平成29年10月の台風21号において、特に

被害の大きかった汗谷川流域をモデル地区とし、大学、三重河川国道事務所、市、汗谷川流域の7地区でワークショップを行い、危機管理型水位計の活用法を考え、地域と雨の関係を調べ、地域で防災訓練を実施し、避難行動に対し今後の取組を考えた。この取組を基に、避難行動計画を作成し、今後はタイムラインを活用した地域の防災力向上を目指している。

- ・ LINE のオープンチャットを使って、災害などの情報提供の場を設けた。
- ・ 今後も実行計画に基づいた取組を進め、浸水被害の軽減を目指していく。

(三重河川国道事務所)

- ・ 学校の先生も含めたワークショップという形態でプロジェクトを進めて頂くことは、流域治水に対する我事感を醸成するには非常に大事な取組だと思う。このようなプロジェクトは、三重河川国道事務所としても協力させて頂きたいので、推進の方よろしく願いいたします。

#### ■津地方気象台

- ・ 令和4年6月から線状降水帯による大雨の可能性が高い場合に県気象情報を用いて、半日程度前から「線状降水帯」というキーワードを使った呼びかけを行っており、令和4年度の出水期の実績は、呼びかけを行った13回中、線状降水帯の発生した事例は3回、線状降水帯が発生した11回中、呼びかけをしていなかった事例が8回で、開始前の想定とほぼ同程度の予測精度となっていた。
- ・ 線状降水帯の予測精度向上に向け、観測や予測の強化を行っており、線状降水帯予測スーパーコンピューターを令和5年3月から稼働している。引き続き精度の向上に努める。

(三重河川国道事務所)

- ・ 線状降水帯の予測精度がまだ低いとされているが、予測が外れたとしても重要な情報として、気象庁さんには前向きに発信して頂いている。今後また精度の向上をしていく上で、この情報を参考に自治体の方でも色々な情報を発信していただければと思う。

#### ◎流域治水協議会

##### ■鈴鹿市

- ・ 流域治水プロジェクトとしては、河川整備計画の目標流量を安全に流下させるために、金沢排水区下水道整備を進めており、令和4年度までは、延長約1100mで65%が完成しており、令和7年度の完了を目標としている。
- ・ 毎年、出水期に合わせて SNS・広報誌等を活用し、事前準備の重要性、情報収集手段の確保、避難情報に合わせたとるべき行動などの情報発信を継続している。令和4年11月から、新たに LINE を使った情報発信を開始しており、避難情報の受け取りや、近くの避難所の検索、ハザードマップや川の水位情報、土砂災害情報提供システム、防災・気象情報などのリンクといった機能を備えている。

#### ■大台町

- ・災害からライフラインを守る事前伐採事業として、停電を未然に防ぐために、三重県及び中部電力と連携し、電線を寸断する恐れのある樹木を事前伐採している。
- ・災害リスクを軽減するために、砂防等の整備を進めており、宮川上流部の土砂撤去を年間約3万 m<sup>3</sup>を毎年県の事業として進めている。
- ・今後もハード、ソフト両方の事業を進め、災害に強いまちづくり、被害に遭わないまちづくりを進めていきたい。

#### ■多気町

- ・外城田川では、河道掘削、樹木伐採を継続的に実施している。県や玉城町と一体的な治水対策を行うために、外城田川上流の2級河川への昇格を三重県にお願いしている。
- ・間伐材等のバイオマス発電所への利活用を推進している。これは、平成26年から地域の皆様に山で資材を集めてもらう制度であり、森林環境の保全を図って、調整機能を高めるということを目的にしている。
- ・被害の軽減、早期復旧のための対策として、櫛田川上流や佐奈川上流など、県管理河川の洪水浸水想定区域図が公表されたため、それらを反映した防災マップを作成・配布し、これにより災害リスクの空白域の解消を図る取組を進めている。

【別紙—1】

四日市市	市長	森 智広 (代理：危機管理課長 後藤明彦)
鈴鹿市	市長	末松 則子
亀山市	市長	櫻井 義之 (代理：土木課長 山内光広)
菰野町	町長	諸岡 高幸 (代理：都市整備課長 伊藤正人)
川越町	町長	城田 政幸 (代理：安全環境課長補佐 水谷晋也)
朝日町	町長	矢野 純男 (代理：防災保全課長 柴田慎也)
津市	市長	前葉 泰幸 (代理：危機管理部防災室長 山口敬正 河川排水推進室長 増田繁樹)
松阪市	市長	竹上 真人 (代理：建設部長 松本尚久)
多気町	町長	久保 行央
明和町	町長	世古口 哲哉 (欠席)
伊勢市	市長	鈴木 健一
玉城町	町長	辻村 修一 (欠席)
大台町	町長	大森 正信
度会町	町長	中村 忠彦 (欠席)
大紀町	町長	服部 吉人 (代理：防災安全課参事兼課長 小倉秀康)
南伊勢町	町長	上村 久仁 (代理：高齢者支援課長 島田 将秀)
三重県 四日市建設事務所	所長	稗田 寿次郎
三重県 鈴鹿建設事務所	所長	宮口 友成
三重県 津建設事務所	所長	千種 藤紀
三重県 松阪建設事務所	所長	古澤 忠士

三重県	伊勢建設事務所	所長	関山 治利 (代理：室長 喚阿 宏真)
三重県	四日市地域防災総合事務所	所長	関 泰弘 (代理：地域防災課長 杉坂 信)
三重県	鈴鹿地域防災総合事務所	所長	井爪 宏明
三重県	津地域防災総合事務所	所長	榎屋 眞 (代理：副所長兼地域調整防災室長 中瀬 元浩)
三重県	松阪地域防災総合事務所	所長	川北 敏
三重県	南勢志摩地域活性化局	局長	阪 靖之
三重県	県土整備部 施設災害対策課	課長	繁田 憲一
三重県	県土整備部 河川課	水災害対策監 河川課長	川北 健司 水谷 亨
三重県	県土整備部 防災砂防課	課長	河邊 努
三重県	県土整備部 下水道事業課	課長	久保田 秀幸
三重県	県土整備部 都市政策課	課長	小野 明子
三重県	県土整備部 営繕課		(欠席)
三重県	県土整備部 建築開発課	課長	吉村 厚哉
三重県	県土整備部 港湾・海岸課	課長	鈴村 英之 (代理：海岸整備班長 廣出 治)
三重県	県土整備部 道路管理課	課長	高柳 伸浩
三重県	県土整備部 道路建設課	課長	松本 匡史
三重県	農林水産部 農業基盤整備課	課長	湯浅 豊司
三重県	農林水産部 治山林道課	課長	久保村 実
気象庁	津地方气象台	台長	本松 雅彦
国土交通省	蓮ダム管理所	所長	堀江 幸生 (欠席)
国土交通省	三重河川国道事務所	所長	菅 良一
国土交通省	中部運輸局		
	鉄道部 安全指導課	課長	小野木 康仁
林野庁	三重森林管理署	署長	川戸 英騎
水資源機構		所長	三好 久雄
四日市あすなろう鉄道(株)		部長	小川 美和 (代理：運輸課長 渡部 一博)
	鉄道営業部		

近畿日本鉄道（株）	部長	阪田 道夫
鉄道本部 名古屋統括部 施設部		（欠席）
東海農政局 農村振興部	洪水調節機能 強化対策官	持山 昌智
森林整備センター	所長	田野中 大
津水源林整備事務所		
東海旅客鉄道（株）	部長	久永 健一郎
東海鉄道事業本部 施設部		（代理：施設部管理課長代理 辻 衛）
中部電力株式会社 事業創造本部	部長	丸山 忠宏
		（欠席）